

愛知大学(学部入学定員:1,995人)

[取組学部・研究科等:現代中国学部(180人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

本学の育成するグローバル人材像は、「語学力」、「人間力」、「異文化理解力」、「日本理解・発信力」、「協働力」の5つを併せ持った人材です。特に従来後手に回りがちであった「日本理解・発信力」を強化し、本学の建学の精神の一つである「国際的教養と視野をもった人材の育成」を体現する形で上述のグローバル人材を育成し世に送り出すことが、本構想の目的です。

【構想の概要】

上述のグローバル人材育成のため、教育カリキュラム面と学内体制面の整備を行います。具体的には、教育カリキュラム面では、日本理解・発信プログラムの開発、現地主義教育の強化、日中ダブルディグリー・プログラムの開発等を行います。学内体制面では、中国現地事務所の開設、日本人学生の留学促進に向けた環境整備等に取り組みます。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

本学学士課程教育の質の国際通用性を一層向上させるべく、シラバスの改善(事後展開や他科目との関連性の明示、多言語化)、ナンバリングの導入、GPAの指導への活用、アクティブ・ラーニングの推進等を積極的に進めていきます。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

本学は既に、教育研究および大学管理運営に関する基本情報を日本語HP等で公表していますが、今後英語および中国語によるこれらの情報発信を充実させていきます。さらに、本事業を通じた取組についても日中英3言語でのタイムリーな発信を図ります。

○ 事務体制のグローバル化

中国の上海と天津にそれぞれ現地事務所を設立し、現地主義教育の新たな現場拠点とします。また、英語/中国語学力スタンダードを満たす事務職員数を5年間で40%増させます。



〈現地主義教育の様子〉

■ グローバル人材として求められる能力の育成

○ 「日本理解・発信力」養成

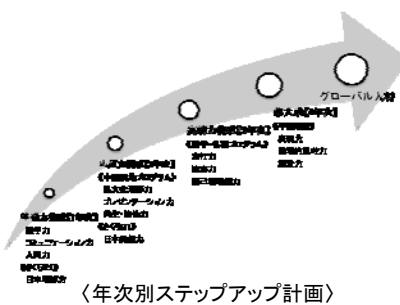
学生が日本文化社会理解科目群を系統的に学びながら、併せてグループワーク等を通じて当該知識をいかに発信するかを主体的に学び実践する、アクティブ・ラーニングを展開します。一定単位修得によりCertificate(修了証明)を発行します。

○ 現地主義教育の強化

従前より展開している「現地プログラム」、「現地研究実習」、「現地インターンシップ」の3つの現地主義教育を、上述の日本理解・発信プログラムの開発や中国現地事務所の開設を通じて一層強化します。日中ダブルディグリー・プログラムも創設します。

○ グローバル人材育成に向けた年次別ステップアップ支援

本学では左記のチャートの通り、卒業時のグローバル人材「到達」を目標として、どのプログラムを通じてどの力をつけるかを示した年次別ステップアップ計画を明確にしています。



〈年次別ステップアップ計画〉

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

海外帰国生選抜入試における外国語力の評価基準が学部によって異なる点を是正し、さらに、外国語科や国際コース等を設置している高等学校と学部間協定を締結し外国語に堪能な学生の入学を促進する等の工夫を行っていきます。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

HSK(中国政府公認の中国語検定試験)を中心とした履修モデルを組むことで、学生が各自のレベルに応じて計画的に語学力レベルアップを図る体制を構築します。また、従来自習用教材として提供してきたオンライン語学トレーニング教材について、学習到達度を分析してさらなる積極活用を検討します。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

外国人教員を積極的に招聘するとともに、中国の大学との双方向型の授業を展開します。中国語を含む外国語による授業実施率を5年間で40%増加させるとともに、外国人教員等の比率を全教員の25%まで高めめます。

○ グローバル教育力向上のための取組

教員の「グローバル教育力」の評価基準を明確にし、それを研究業績と同様に評価する仕組みを開発の上、人事制度に反映させます。また、帰国後の外国語での授業実施を条件とした「語学力向上型研修制度」を導入します。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

学生の留学意欲を高めるために、HSKを中心においた履修モデルの提示、目標設定と達成度確認さらに教員による客観的な評価を可能とする学修ポートフォリオの導入、休学留学への一定条件下での単位認定、ダブルディグリー・プログラムの開発、日本理解・発信プログラムにおけるアクティブ・ラーニングの導入等を推進します。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

上海と天津に新設する中国現地事務所が、留学に向けた情報提供や留学中の学生サポートを担当します。教学面の支援については、学修ポートフォリオを通じて教員アドバイザーが随時行います。また、「愛知大学・包括的キャリア支援システム(CISA)」にしたがって留学中および留学帰国後の学生の就職活動を全学を挙げて支援します。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

(1)基礎的能力

語学力とプレゼンテーション力を指します。語学力については、外国語力スタンダードとしてHSK5級(HSKは6級が最高級)を設定しその達成を目指します。プレゼンテーション力については、日本でのアクティブ・ラーニング、さらに中国での「現地プログラム」やダブルディグリー・プログラム等の体系的な学びを通じて格段に向上させます。

(2)異文化を理解し、信頼し合える人間関係を築く能力

3つの現地主義教育を経験することで、異文化理解力やコミュニケーションスキルを文字通り「体得」させます。

(3)日本を理解し、日本を発信する能力

他者を理解することは自己をより深く理解することでもあるということを現地主義教育等を通じて認識させ、発信する内容(日本)について深く理解するとともに、それを共感をもって理解してもらえるよう発信するスキルを身に着けさせます。

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語力スタンダードを満たす学生数				30人	50人	70人	90人
うち海外留学未経験者数 (A)				0人	0人	0人	0人
海外留学経験者数 (B)		193人	276人	220人	220人	220人	220人
卒業[予定]者数 (C)		193人	276人	220人	220人	220人	220人
比率 ((A+B)/C)				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
現代中国学部	卒業時の外国語力スタンダード	HSK5級		30人(0)	50人(0)	70人(0)	90人(0)
	海外留学経験者数	193人	276人	220人	220人	220人	220人
	3カ月未満	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	3カ月～1年	171人	228人	190人	190人	190人	190人
	1年超	22人	48人	30人	30人	30人	30人
卒業[予定]者数		193人	276人	220人	220人	220人	220人

※1)「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。